

奈良県との「連携と協力に関する包括協定」の締結について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）と奈良県は、2024年4月3日、以下のとおり「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。

1. 協定の概要

(1) 名称

奈良県と日本生命保険相互会社との「連携と協力に関する包括協定」について

(2) 目的

奈良県と当社が、相互連携と協働による活動を推進し、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び県民サービスのより一層の向上を図ること

(3) 協定項目

「特定連携事業」（事業目的達成に向け特に注力していく項目）

①まちづくりや文化振興など奈良県の未来への投資に関する事

②県庁の健康経営[※]に関する事

「連携事業」（事業目的達成に向け連携して取り組む項目）

③福祉の充実、医療の充実に関する事

④安全・安心の確保に関する事

⑤子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進、教育の充実に関する事

⑥観光、工業・商業の振興および脱炭素・水素社会の実現に関する事

⑦スポーツの振興に関する事

⑧県政情報発信に関する事

⑨その他、地域社会の活性化及び県民サービスの向上に資すると双方が合意した取組に関する事

※「健康経営^{*}」はNPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

2. 今後の主な連携事業

当社は、国民生活の安定と向上に寄与することを経営基本理念に掲げる中、安心・安全で持続可能な社会の実現への貢献を通じた企業価値向上を目指し、あらゆる事業活動において、サステナビリティ経営を推進しています。

今般の包括連携協定の締結を契機に、幅広い分野で奈良県と協力し、県の地域活性化および県民サービスの一層の向上に取り組んでまいります。

- (1) まちづくりや文化振興など奈良県の未来への投資に関すること
 - ・未来を担う若者が集住し、企業・研究機関と交流し学ぶ”Young Innovation Residence”プロジェクトに連携・協力します。
 - ・未来の芸術家を奈良の地で育む”Nara for Culture”プログラムに協力します。
 - ・経済の域内循環を目指す地域電子通貨事業の加盟店確保や利用促進に向けた周知などで協力します。
 - ・平城宮跡を奈良時代のように若者によるクリエイティブな活動が行われる場所とする平城宮跡の再生に向けた検討への構想段階から連携・協力します。
 - ・日本生命の情報力を活かした企業誘致で、連携・協力します。
- (2) 県庁の健康経営に関すること
 - ・「健康・交流ステーション」での情報提供、コンテンツ協力やストレスチェックの高度化などにより、奈良県の健康経営に協力します。
- (3) 福祉の充実、医療の充実に関すること
 - ・高齢者の健康増進、介護予防に協力します。
 - ・障がいへの理解促進・啓発をします。
 - ・チラシ配布等によるがん検診、特定健診、特定保健指導、救急医療の適正受診、糖尿病対策、循環器病対策にかかる予防、啓発、受診勧奨に協力します。
 - ・県内企業従業員に対する健康的な生活習慣の普及・啓発をします。
- (4) 安全・安心の確保に関すること
 - ・交通安全や防犯・防災の啓発に協力します。
 - ・地域見守り活動を実施します。
 - ・日本生命財団を通じ、児童・少年の健全育成やシニア活動を支援します。
 - ・消防団入団促進に協力します。
 - ・快適な道路空間の維持・向上に向けた取組に参画します。
- (5) こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進、教育の充実に関すること
 - ・なら女性活躍推進倶楽部に参画します。
 - ・ライフデザインや金融、保険、キャリアデザインに関する出前講座の実施と、探究活動の充実に向けた協力をします。
- (6) 観光、工業・商業の振興および脱炭素・水素社会の実現に関すること
 - ・日本生命東京本部、大阪本店での奈良県物産展（販売会）を開催します。
 - ・ニッセイ緑の財団を通じ、“ニッセイの森”（今後設定）でのボランティア活動による森林整備・活用等をします。
- (7) スポーツの振興に関すること
 - ・奈良マラソンなどのスポーツ行事に協賛・協力します。
 - ・日本生命所属アスリート、野球部・女子卓球部によるスポーツ教室、スポーツイベントを実施します。
 - ・地域プロスポーツの振興に協力します。
- (8) 県政情報発信に関すること
- (9) その他、地域社会の活性化及び県民サービスの向上に資すると双方が合意した取組に関すること
 - ・企業版ふるさと納税の活用などにより、県施策推進や県民サービス向上に資する取組に協力します。

以 上